

事前配布資料:4-8頁

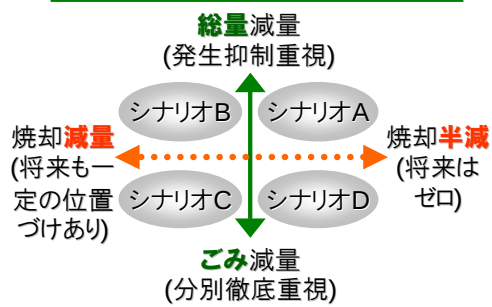
シナリオの構造の説明 ～軸とすべき基本テーマの選択について～

1

基本テーマの候補

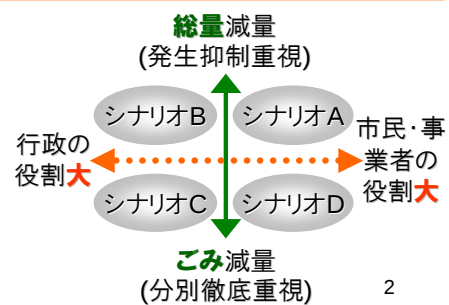
候補その1

「発生抑制」と「焼却の減らし方」

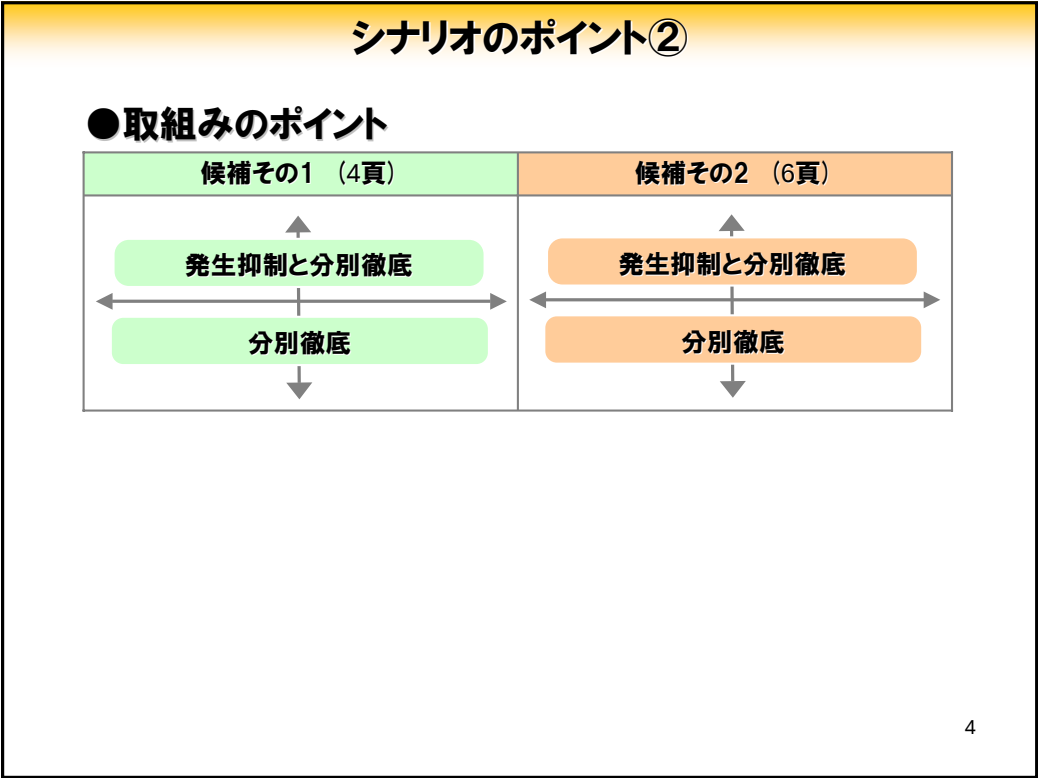
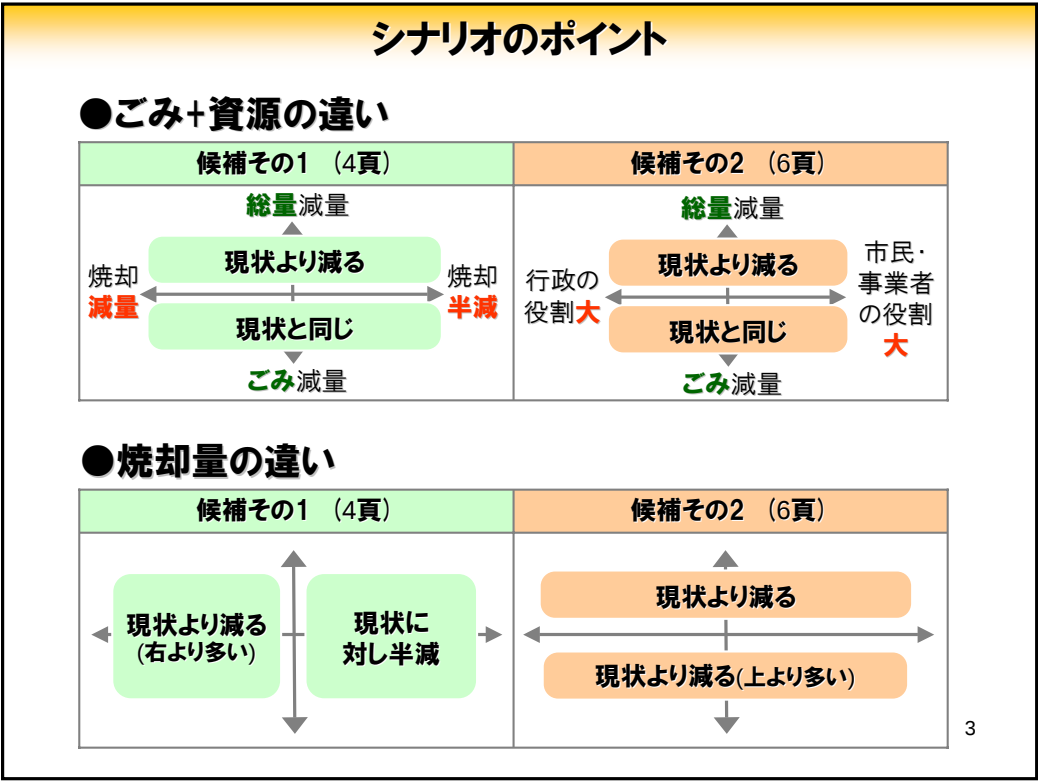


候補その2

「発生抑制」と「行政/市民・事業者の役割」

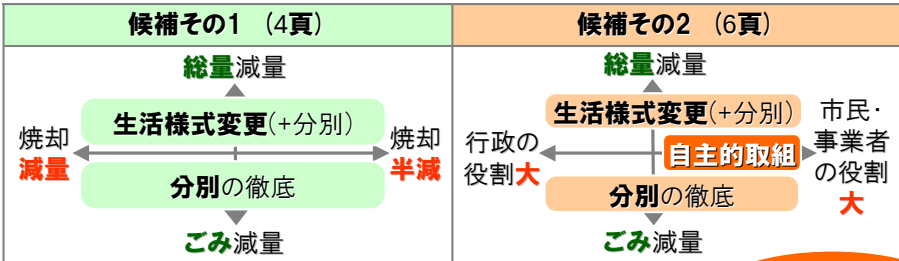


2



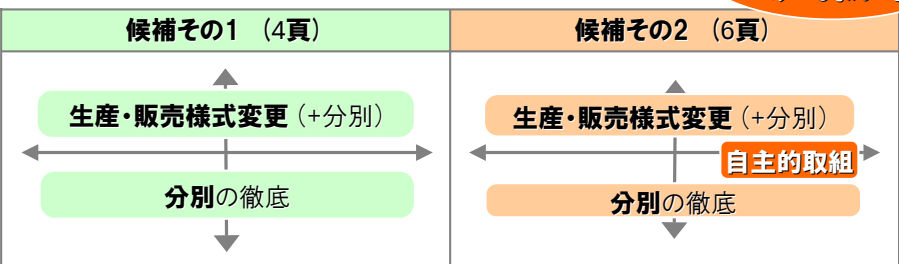
しみんの役割の違い(1)

●市民の役割



使捨て容器の自粛協定
店頭による資源回収
エコクーびょん など

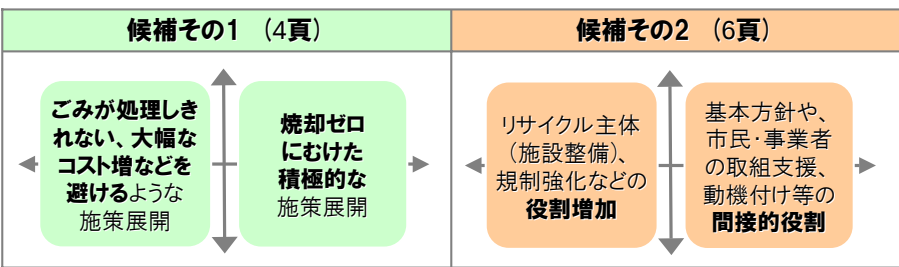
●事業者役割



5

しみんの役割の違い(2)

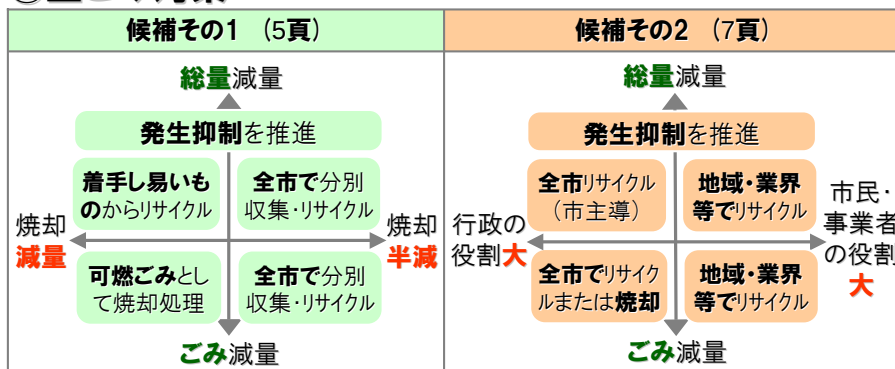
●行政の役割



6

指示文書内の各テーマの扱い(1)

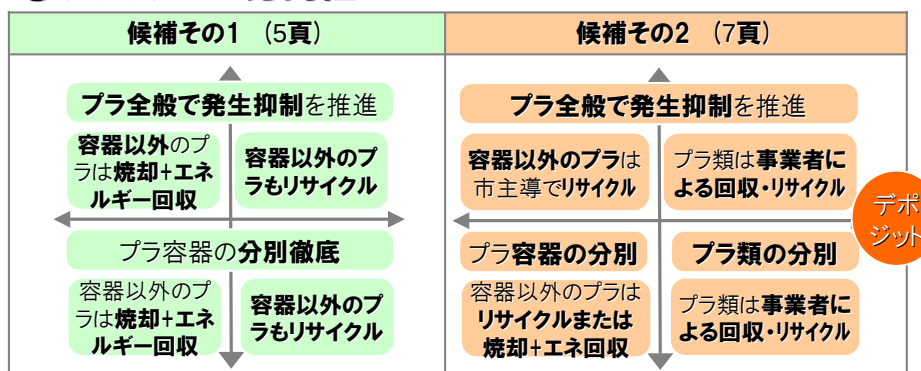
②生ごみ対策



7

指示文書内の各テーマの扱い(2)

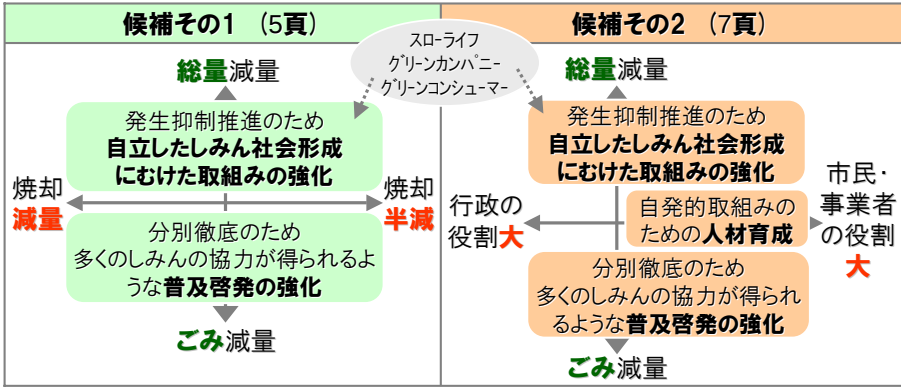
③リサイクルの方向性



8

指示文書内の各テーマの扱い(3)

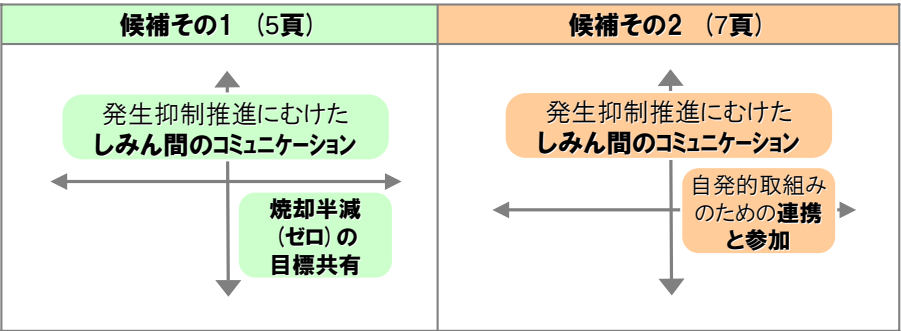
⑧教育・人材、⑩価値観・ライフスタイル



9

指示文書内の各テーマの扱い(4)

⑨情報・コミュニケーション



10

指示文書内の各テーマの扱い(5)

⑥費用負担、ごみ有料化

候補その1 (5頁)	候補その2 (8頁)
●費用負担、ごみ有料化については場合分けが困難。 ●減量のための有料化か？それとも減量後のごみ(資源)は有料とすべきでないか？の議論などが別途必要。 ●下図は例示 (上部の左右のメリハリは要検討) 総量減量 焼却減量 ごみ・資源を有料化 有料化なし ごみのみ有料化 焼却半減 ごみ減量	総量減量 ごみ・資源を有料化 ごみは有料化 リサイクル費用は製品価格に上乗せ 行政の役割大 ごみのみ有料化 リサイクル費用は製品価格に上乗せ 市民・事業者の役割大 ごみ減量 ●左側は、費用負担を行政の役割として考え、有料化は導入しない(税金負担)とすることもできる。